

認知症の人と家族の会 長崎県支部

活動地域: 県内全域

主な対象: 認知症のあるご本人・家族

開催方法: 各地区会で対面開催

一部のみオンライン開催

活動のきっかけ

公益社団法人認知症の人と家族の会は、1980年に「呆け老人をかかえる家族の会」として、孤独な介護に苦しむ家族たちが集まり発足しました。当時は認知症への理解や支援が不足しており、同じ悩みを抱える人々が支え合う必要性が活動の原点です。現在では全国47都道府県に支部を持ち、認知症の方とご家族が安心して暮らせる社会を目指し、相談、情報交換、学習会などの支援活動を行っています。また、国際アルツハイマー病協会(ADI)の日本支部として、国際的な情報交換や連携も積極的に行っています。設立当初より、国への要望書提出をはじめ、介護保険制度や社会保障制度に関する提言や意見発信などの政策提言活動も重要な柱として取り組んでいます。

活動の内容

各地区会の会員の「つどい」

あじさい会(長崎市): 毎月(第4火曜日) 13:00、長崎市茂里町ハートセンター

つつじ会(諫早市): 毎月(第4木曜日) 13:00、諫早市市民センター

わらべ会(大村市): 毎月(第3水曜日) 13:30、プラットおおむら(サロン・おおむら桜)

折り梅の会(松浦市): 毎月(第1月曜日) 13:30、松浦市生涯学習センター

かおり会(雲仙市): 毎月(第3水曜日) 13:30、出前 雲仙市千々石町千々石保健センター

菜の花会(新上五島町): 休会、新上五島町地域包括支援センター

秋桜会(時津町): 毎月(第2木曜日) 13:00、時津町公民館

グループ・すみれ(南島原市): 偶数月(第3火曜日) 10:00、南島原市加津佐町希望の里センター

ほほえみ会(小値賀町): 奇数月(25日) 19:30、北松浦郡小値賀町離島開発総合センター(伊藤) 090-6899-2604

はなみずき会(佐世保市): 毎月(第4火曜日) 13:30、させば市民活動交流プラザ



はまべの会(壱岐市): 相談窓口 出前、壱岐市芦辺町「ハッピーヒルズ」内(永田)

お城の会(島原市): 毎月(第2木曜日) 14:00、島原市森岳公民館担当(永田・大山)

平戸市(未組織・会員協力): 毎月(第2木曜日) 13:30、平戸市未来創造館COLAS平戸

川棚町(未組織・会員協力): 毎月(第4木曜日) 10:30、E-basyo みんなでワハハ

対馬市(未組織・会員協力): 偶数月・3月(第3火曜日) 13:30、対馬市交流センター

本人・若年性認知症家族のつどい: 奇数月(第3土曜日)、小島居諫早病院デイケア室

認知症サロン: 毎週火曜日、サロンおおむら桜

認知症カフェ: 毎月、島原、時津

認知症カフェ: 月2回、雲仙

参加された方の声

- 「20代で孫という立場で初めて参加した。周りは年上の人が多くて最初は場違いなのかと思った。でも、認知症のケアラーであるという共通項があることが無いとわからないことで分かり合うことができた。集いに行くだけで、心から共感してくれる人たちがいることを心強く思った。」
- 「突然認知症の家族を抱えて、駆け込み寺のように駆け込んだ。どうしたらいいのか、何を相談したらいいかわからなかった。1言うだけで10分かってもらえる場所だった。治療法も解決策もない。認知症という病気が、治療法も明確な道筋もなく、人によって症状も全く異なるけれど、頼れる場所があることが非常にありがたいと感じられています。」

みなさまへ

今、誰にも言えない苦しさや悩みを一人で抱えていませんか？大丈夫です。あなたは決して一人ではありません。かつて私たちも同じように苦しみ、手探りで困難を乗り越えてきました。ここには、あなたの気持ちを自分のことのように共感できる仲間がいます。誰にも言えないと思っていたことをそっと話してみてください。ぜひ抱え込まず、私たちに頼ってください。認知症の人と家族の会は、きっと心が軽くなる場所になるはずです。

アクセス・連絡先

【事務局】

〒852-8104

長崎市茂里町 3-24 長崎県総合福祉センター県棟 4F

Tel&FAX: 095-842-3590(火・金 10:00~16:00)

認知症の人と家族の会の会員が相談に応じます。

Mail: nagasakikensibu2021@gmail.com

LINE: <https://lin.ee/ziVfaGA>

YouTube:

https://www.youtube.com/@Alzheimer_nagasaki

【LINE】



【YouTube】



1980年から変わらない 活動理念

認知症になったとしても、介護する側になったとしても、
人としての尊厳が守られ日々の暮らしが安穩に続けられなければならない。

認知症の人と家族の会は、ともに励ましあい助けあって、
人として実りある人生を送るとともに、
認知症になっても安心して暮らせる
社会の実現を希求する。